

令和7年度 藤沢支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上 (法令順守・服務規律の徹底)【必須】	公務内外を問わず、教育公務員としての自覚を持ち行動する。	個人情報や児童生徒の連絡先を持ち出さないよう徹底を図り、適切な管理を実施した。また、個人所有の端末を授業に持ち込まないよう、教職員への周知徹底を行った。
職場のハラスメント (パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止【必須】	他者の人格を尊重した言動・行動を心がけ、働きやすい職場環境を作る。	『働きやすい環境、風通しのよい職場にするために～ハラスメントの防止について～』をテーマに研修を実施し、ハラスメントを生まない環境づくりに取り組んだ。また、人権意識の向上を図り職場環境の改善に努めた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須】	児童生徒の意思や尊厳を守り、指導体制や環境を整え、適切な対応、指導を行う。	警察による防犯講話を実施し、児童生徒を取り巻く性犯罪や性暴力の現状を学ぶとともに、教職員一人ひとりが犯罪の加害者、被害者、傍観者とならないよう理解を深めた。
体罰・不適切な指導の防止【必須】	児童生徒の人権を尊重した支援、指導をチームで行う。	体罰・不適切な指導について、『今まで経験したヒヤリハット』について、Formsでアンケートを実施し、適正な指導の構築に取り組んだ。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【必須】	個別教育計画・進路関係書類等の作成・保管・廃棄を適切に行う。 入学者選抜業務を適切に行う。	個人情報を含む文書の作成・保管・廃棄について、年度初めに各学部で手順を確認し、適切に実施した。業務が適切に行われているかを複数名で複数回確認する体制を継続し、管理の徹底を図った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	『著作権～この画像、使っていいのかな』をテーマに研修を実施し、授業で使用可能なものと使用不可なものを確認することで、著作権の意義について理解を深めた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを継続する。	『飲酒運転撲滅』『自転車のスマホ・酒気帯び罰則強化』『行政処分と罰則』『酒気帯びとは』をテーマに研修を実施し、交通ルールの遵守と安全意識の向上を図った。
風通しの良い職場づくり(適切な業務執行体制の整備)	同僚性の醸成と報告・連絡・相談の徹底、相互チェック体制、業務協力体制づくりを進める。	教職員同士で相談がしにくいと感じる場面についてアンケートを実施し、忙しい時の心情やモヤモヤした経験を共有することで、相手の立場に立った雰囲気づくりの重要性を再確認した。
財務事務等の適正執行	公費及び私費会計の適正な執行・管理や、備品、消耗品等の適正な管理を行う。	会計業務における『今年度発生したヒヤリハット』について、Formsでアンケートを実施し、改善策を共有することで、適正な管理体制の構築に取り組んだ。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

本年度のゼロプログラムでは、学校環境の改善や不祥事の未然防止に向けて、個人情報管理、ハラスメント防止、防犯意識の向上、適正な指導の構築、著作権や交通安全意識の向上、教職員間の相談体制の強化など、幅広い取り組みを進めた。これらの活動を通じて一定の成果を得ることができた一方で、いくつかの課題も浮き彫りとなった。

個人情報の管理については、年度初めに各学部で手順を確認し、保管庫の施錠や持ち出し手続きの明確化を徹底した。適切な管理体制を維持することができたが、定期的な確認や研修を通じてさらに意識を向上させる必要がある。ハラスメント防止では、研修を通じて人権意識の向上を図ったものの、教職員間の相談体制が十分に整っていないことが課題として残っている。忙しい時期でも相談しやすい環境を整える取り組みが求められる。

防犯意識の向上では、警察による防犯講話を実施し、児童生徒を取り巻く性犯罪や性暴力の現状を学ぶ機会を設けた。これにより、教職員一人ひとりが加害者、被害者、傍観者とならないための意識を深めることができた。今後は、児童生徒を対象とした防犯教育を広げ、学校全体で防犯意識を高めることが必要である。適正な指導の構築に関しては、Formsを活用したアンケートを実施し、体罰や不適切な指導に関するヒヤリハット事例を共有した。これらの事例を基に改善策を具体化し、指導体制をさらに強化していくべきである。

著作権や交通安全意識の向上については、研修を通じて授業で使用可能なものを確認し、著作権の意義を理解する機会を提供した。また、交通安全では飲酒運転撲滅や自転車のスマホ利用禁止などをテーマに研修を実施し、安全意識の向上を図った。これらの内容を児童生徒にも広げることで、学校全体での意識向上を目指したい。

今後の課題としては、不祥事の未然防止、早期発見、再発防止に向けた具体的な取り組みが必要である。教職員間の相談体制をさらに強化し、適切な情報共有を促進することで、風通しの良い職場環境を構築する。また、研修内容を充実させ、実践的な知識と対応力を教職員に提供することが求められる。これらの取り組みを通じて、安全で働きやすい学校環境の実現を目指していく。